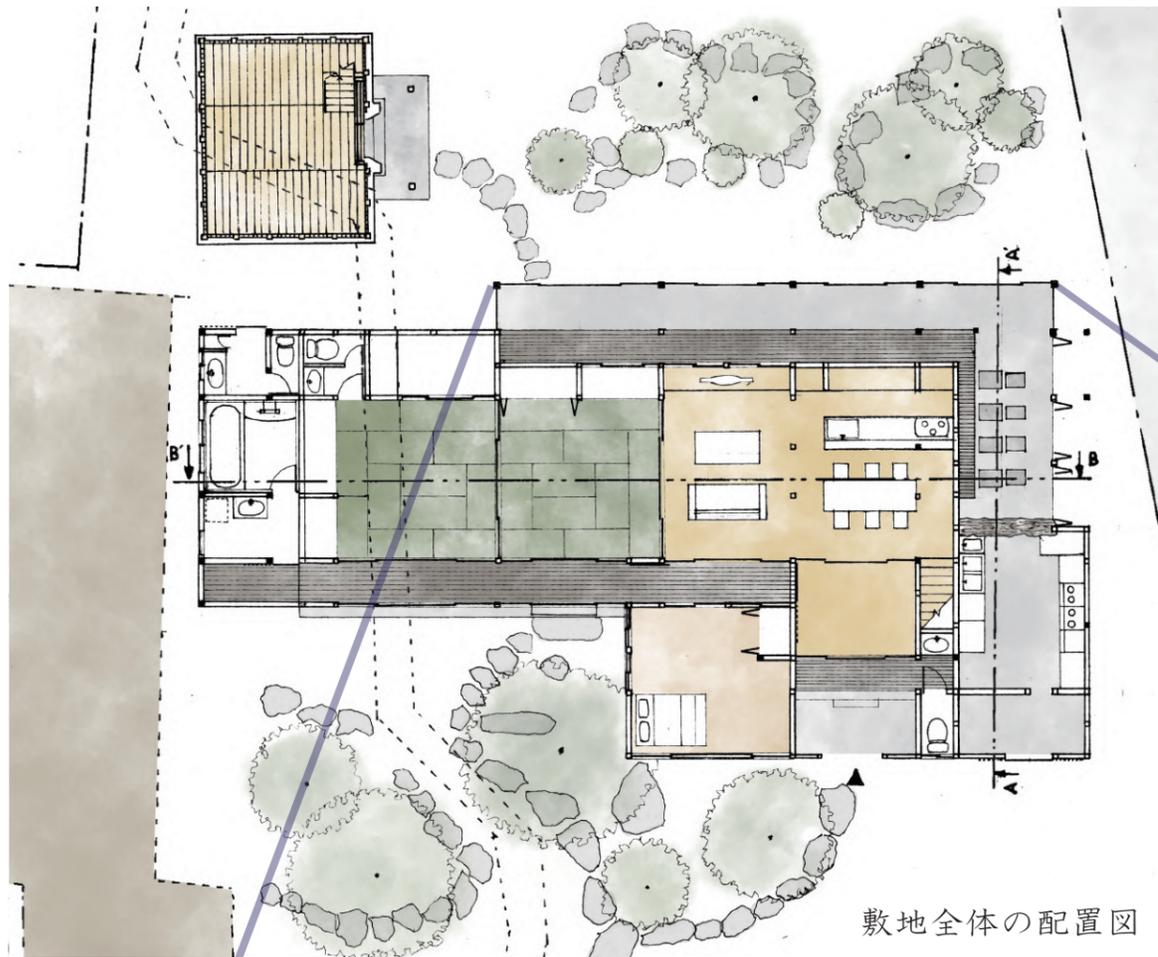




えんかあて



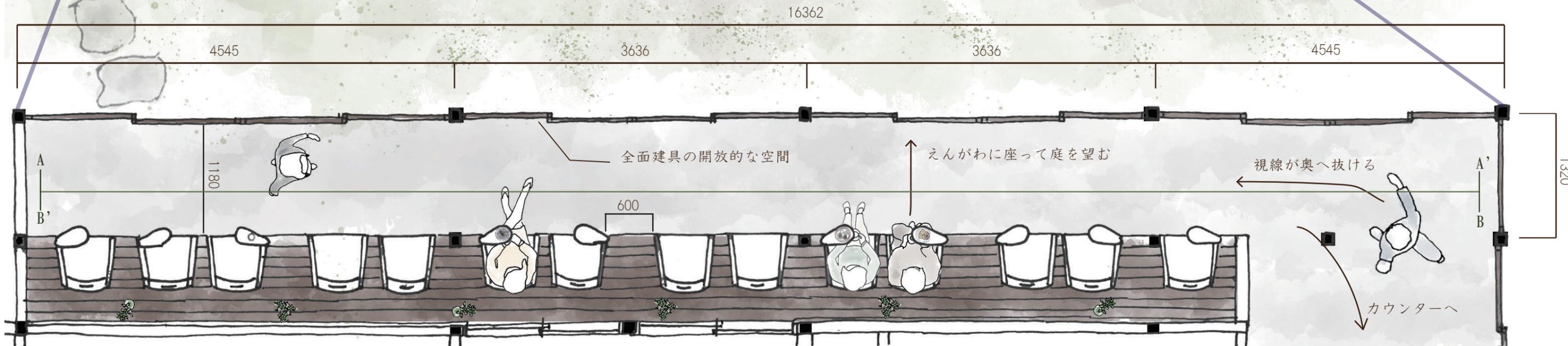
敷地全体の配置図

仕上げ表

縁甲板： ウォールナット
 仕上げ剤： オイルステイン
 土間： 金鍔仕上げ
 壁： 漆喰

設計趣旨

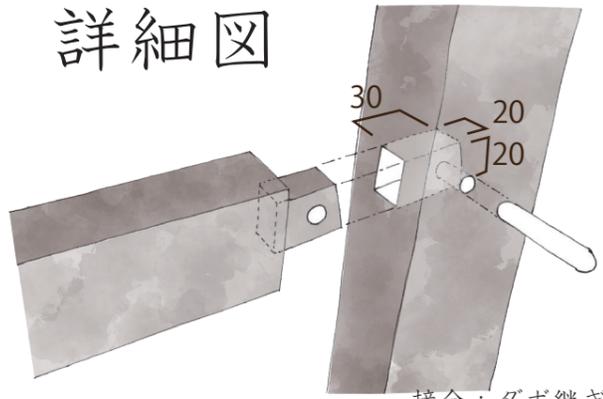
旧越家住宅の保存再生の設計では、縁側をカフェの飲食スペースとして使用し、祖父母の家に遊びに来たときのような感覚、蔵の町に住んでいるかのような感覚の提供をする施設の提案を行った。これは、須坂市の町歩き観光政策と高齢者割合の高さから、ふと一息つきつつ歴史的建物の良さの発信ができる施設を作ろうと考えたからだ。今回の設計では、旧越家住宅が持つ既存の良さを損なわず、空間の雰囲気になじみつつも縁側でのくつろぎをサポートするようなインテリアを設計した。また、北側に広がる庭の魅力を増幅させるようなインテリアの提案も行う。



平面兼配置図 (S=1/40)

座椅子 詳細図

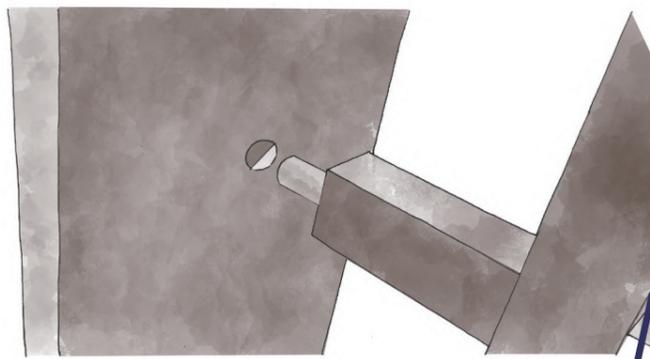
プレートを乗せることで引張り力が起こる接合部にはほぞとダボを組み合わせた接合を行った



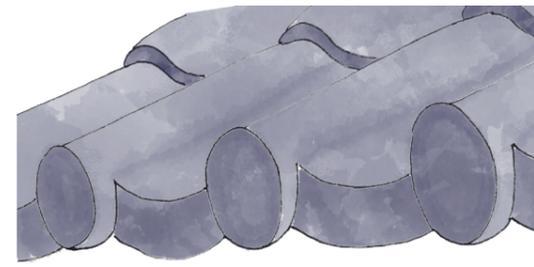
接合：ほぞ継ぎ

接合：ダボ継ぎ

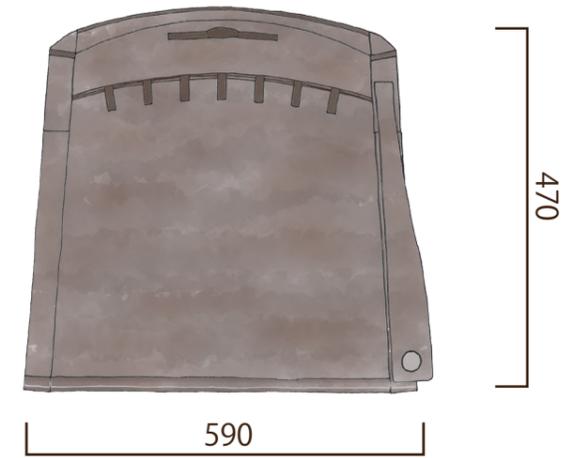
寸法：φ8×40



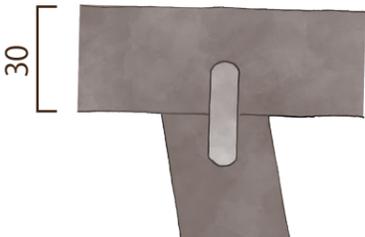
接合部詳細



瓦の断面をデザインに落とし込んだ。この穴は持ち手になる。



座椅子 平面図 (S=1/10)

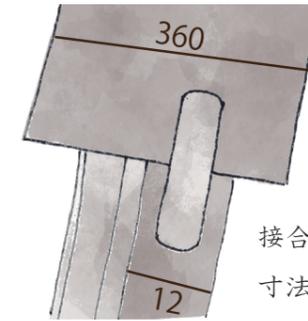


接合：ダボ継ぎ

寸法：φ6×20

接合部詳細図

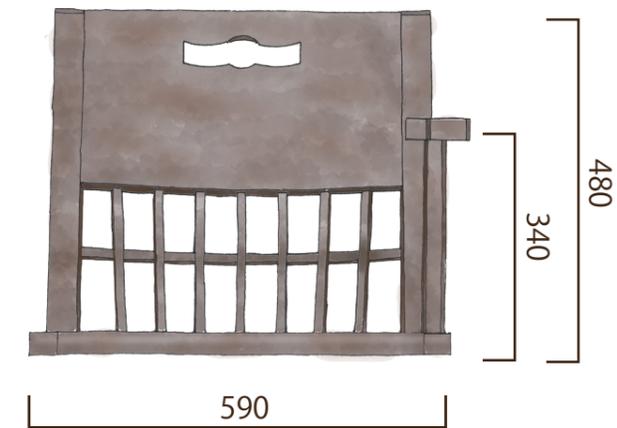
接合部詳細



接合：ダボ継ぎ

寸法：φ6×20

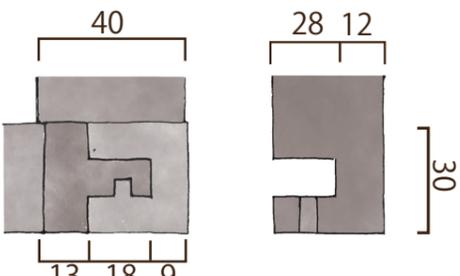
接合部詳細図 (S=1/1)



座椅子 正面立面図 (S=1/10)



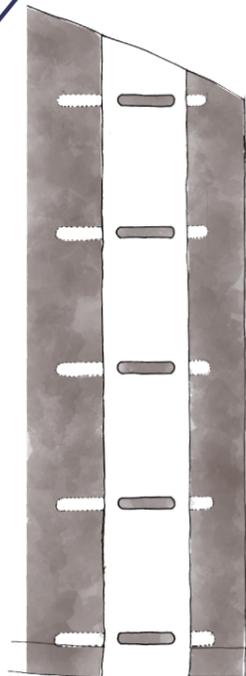
手すりの支えが足に掛けるブランケットの邪魔にならないようにした



接合：ダボ継ぎ

寸法：φ6×20

接合部詳細図

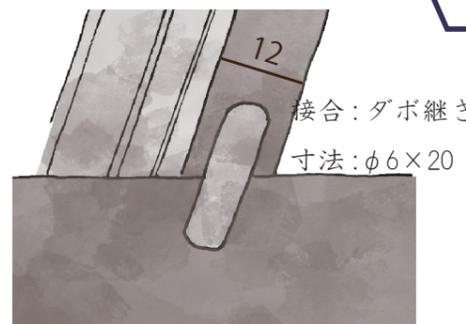


接合：ダボ継ぎ

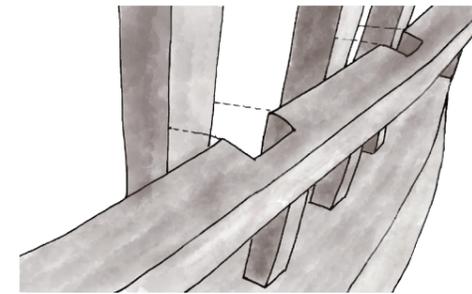
寸法：φ8×30

接合部詳細

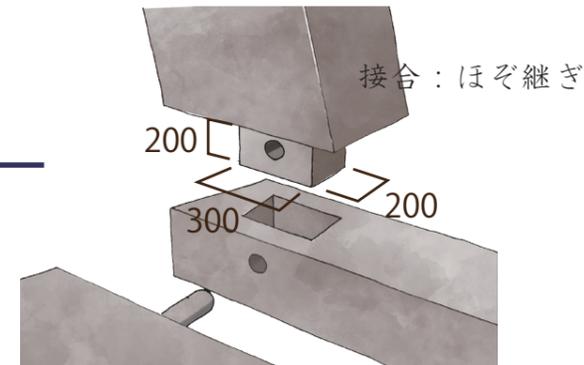
(S=1/5)



接合部詳細図 (S=1/1)



接合部詳細

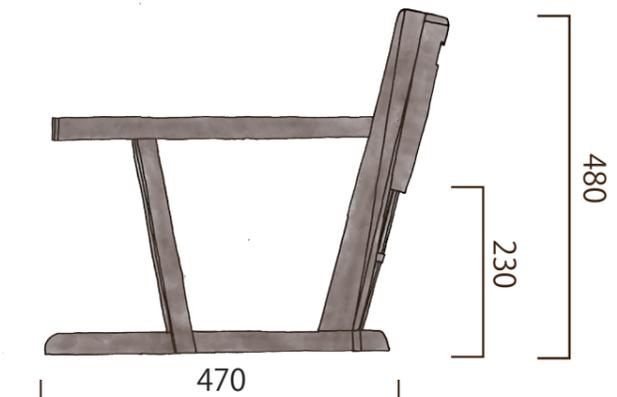


接合：ほぞ継ぎ

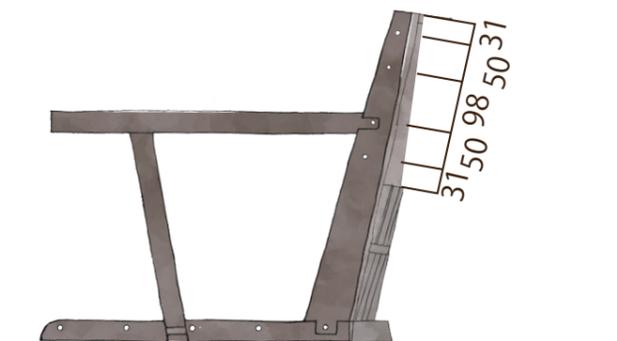
接合：ダボ継ぎ

寸法：φ8×40

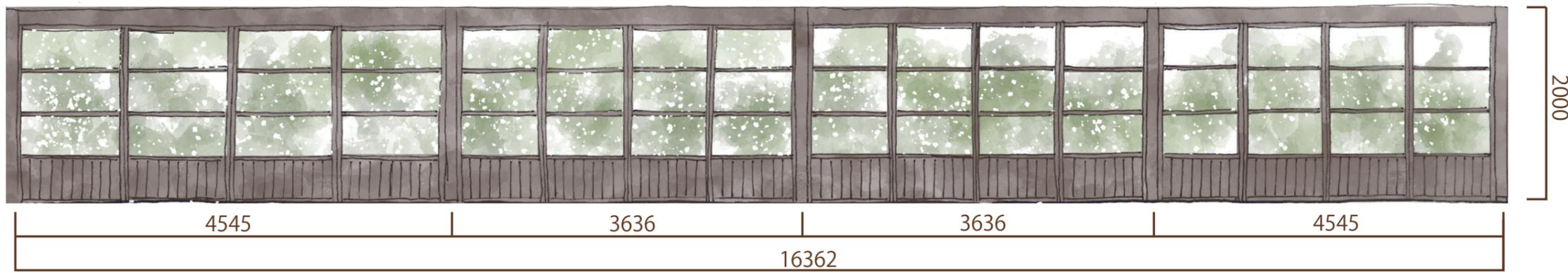
接合部詳細



座椅子 側面立面図 (S=1/10)

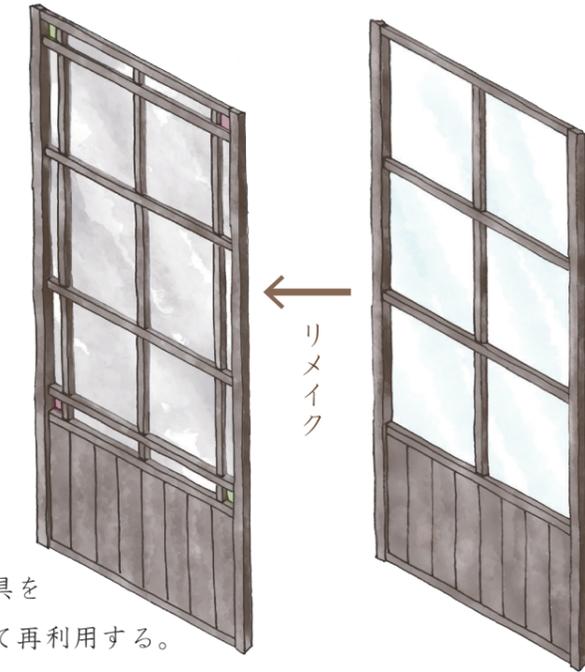


座椅子 側面断面図 (S=1/10)

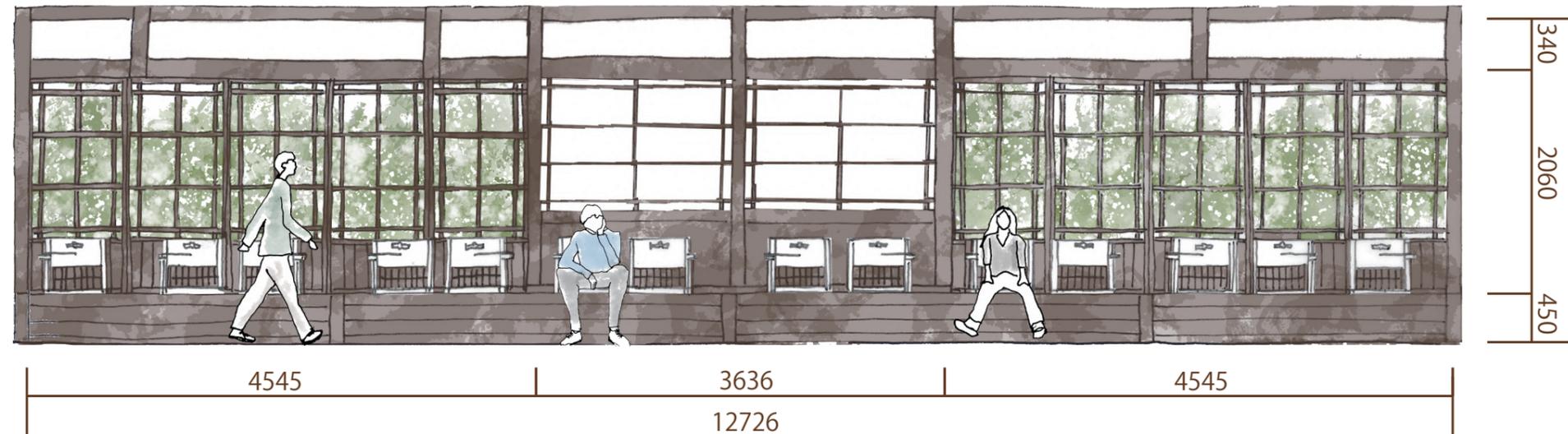


A-A' 展開図 (S=1/40)

建具の再利用



元々使われていた建具を
壁面のデザインとして再利用する。
ガラス部分の裏を鏡にすることで、庭を
ぼかしながら反射する。

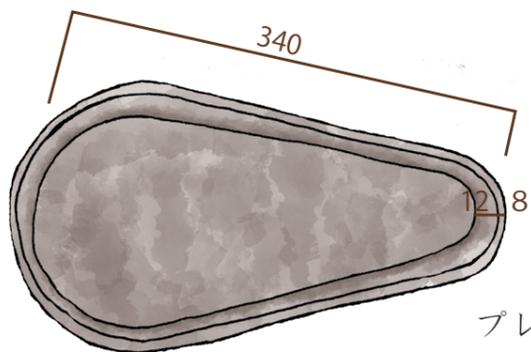
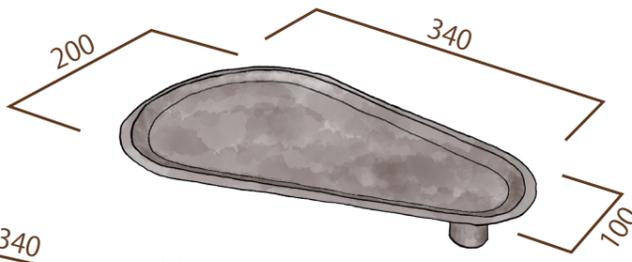


B-B' 展開図 (S=1/40)

家具仕上げ

- 座椅子： チーク材 オイル仕上げ
- プレート： チーク材 ウレタン仕上げ

プレート 詳細図

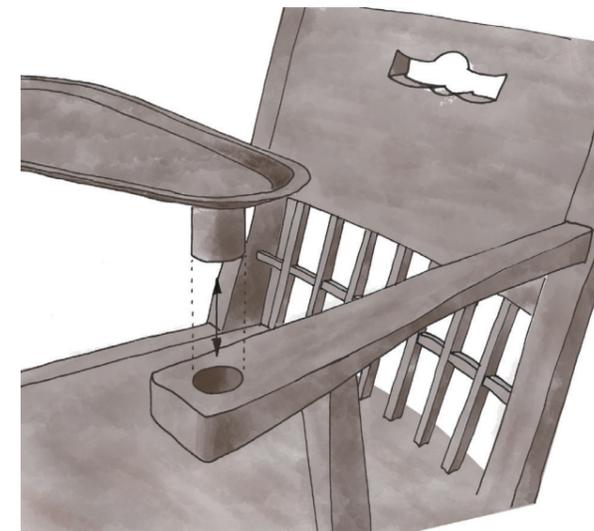
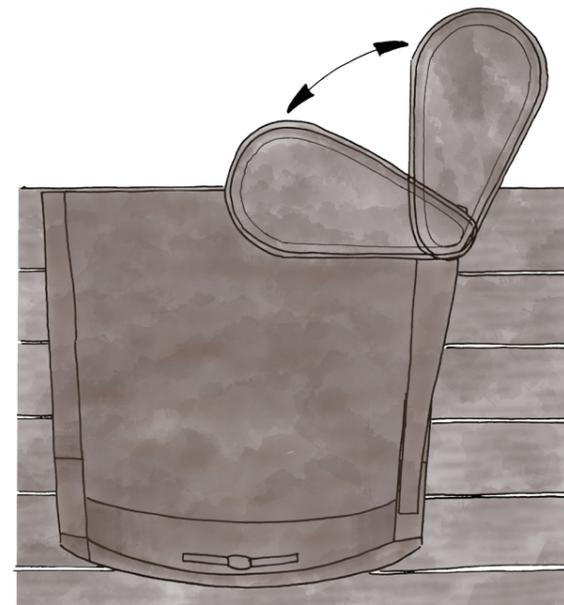


プレート 平面図 (S=1/5)



プレート 立面図 (S=1/5)

プレートを可動式にすることで、トイレに行くなどの座椅子から立ち上がりたいときに手軽に移動させることができる



プレートは座椅子の肘置き部分に差し、固定することができる。これによってプレートを料理が食べやすい高さに保ちつつスペースを削減することができる。

プレート下にある棒部分を持つことで安定して料理を運ぶことができる





